

ようこそ 教育長室へ

教育長 高木 秀人

6月5日(金)から6月29日(月)まで、6月定例市議会が開催されました。教育委員会関係の事項を含む補正予算案を可決いただくとともに、関連の質疑もありました。今回から2回に渡り、6月定例市議会のご報告をします。

1. 可決いただいた補正予算の主な教育委員会関係事項

- 小学校等への外国語指導助手(ALT)の派遣(約1億3,000万円)
 - ＜小学校等への効果＞
 - ・ 配置済みの曽谷小を除く小学校、塩浜学園前期課程、須和田の丘支援学校の計39校に派遣
 - ・ 担任等と協力し、生きた英語に触れられる授業や日常的な様々な活動などを通じて、児童生徒のコミュニケーション能力の育成と英語に慣れ親しむ環境を整備
 - ＜中学校等への効果＞
 - ・ 中学校や塩浜学園後期課程においても、ALTの中学校ブロック内の小学校への派遣がなくなり、ALTが常駐
 - ・ ALTが参加する授業が現在の週1回から週1.5回に拡充
- 国公立特別支援学校在籍児童生徒に対する学校給食費相当額の補助(約470万円)
- 学校図書館への新聞配備(約270万円)
 - ・ 小学校2紙(うち1紙は小学生新聞)
 - ・ 中学校3紙(うち1紙は英字新聞)
- 中央図書館へのネイティブスピーカーの配置(約140万円)
 - ・ 市立図書館や幼稚園、保育園などで英語絵本の読み聞かせを実施

2. 代表質問での主な質疑

○ 市立学校におけるエアコン設置の進捗状況【浅野さち議員(公明党)】

(議員) 市立学校の屋内運動場のエアコン設置状況を伺う。また、普通教室と特別教室のエアコン設置状況を伺う。

(教育振興部長) 屋内運動場は、小学校は令和8年6月中に全校設置が完了、中学校は令和8年度末までに全校設置が完了予定。普通教室は令和8年度より3か年かけリリースにより更新。特別教室はエアコン設置率が69%だが、残り全ての特別教室も設置していく。

○ 「市立高等学校の創設」に向けた見解【西村敦議員(公明党)】

(議員) 市立高等学校は非常にレベルの高い、学力の充実した学校を考えているものと思われる。教育長として、「市立高等学校の創設」に向けた見解を伺う。

(教育長) 「言語探究科」を始めとした探究的な学び、英語教育の充実の延長線上と認識。探究的な学びにより、「福祉」「環境」など社会課題の解決に向けた考え方を生徒が持つことを期待。市川市・教委がないものでも、組織外に必要なものが既にあれば有効活用するなど、幅広い視点で検討。

○ 中学校への英字新聞の配備【石原みさ子議員(創生市川・自民党)】

(議員) なぜ、中学校に英字新聞を配備しようと考えたのか。

(学校教育部長) 教育振興重点施策で、英語教育の充実を図ろうとしている。英字新聞の配備で、中学生が興味ある国内外のニュースを英字新聞で読み、英語の表現方法などに興味を持つなど、英語に触れる環境整備の一つ。今後は授業での活用も図れるように考える。

○ ALTの定着・質の確保【石原よしのり議員(新しい流れ)】

(議員) ALT事業を継続的に運営するためには、人材の定着が重要。ALTの定着の程度を実績で示してほしい。人材の入れ替わりがある中で、ALTの質をどのように確保しているのか。

(学校教育部長) 18名のALTのうち、10名は10年以上勤務。過去5年間の離職者は3名。採用段階の要件や処遇により質の確保を図っている。採用後も教委職員による授業参観・事後指導の実施、毎月のALT会議での模擬授業など、ALTの質向上を図っている。

○ 性の多様性への学校での対応【細田伸一議員(自由民主の会)】

(議員) 性の多様性について、学校現場では、児童生徒からカウンセラーなどが相談を受けた場合、どのように対応するのか。

(学校教育部長) 学校は児童生徒のプライバシーに配慮しつつ、職員間で相談内容を共有。必要に応じ、保護者と面談するなど、家庭との連携を図る。学校だけでは対応が困難な状況や緊急性がある場合は、保護者の意向も踏まえて、関係機関と連携して対応。